

まちのニュース カメラアイ ～地域の問題をお届けします～

9/18
(日)



Laughter & Excitement

～笑い感動を今ここに～

和寒中学校で第67回学校祭が開催され、意見発表大会や学級ステージ発表、合唱コンクール、音楽部発表、生徒会企画の芸能発表がおこなわれました。

最後の学校祭となった3年生はもちろん、1・2年生も主体的に学校祭に取り組み、会場は笑いや歓声に包まれていました。

昼食は恒例のPTAバザーが開かれ、保護者も一緒に学校祭を楽しんでいました。

8/29
(月)



森に学んで 森と親しんで

8月29日から31日までの3日間、和寒小学校で木育学習(森林体験活動)がおこなわれました。

「木育」とは、北海道が提案している『木とふれあい、木に学び、木と生きる』という取組です。

森林面積が町全体の約65%を占めている和寒町で、木材の利用や森林の散策によって木に親しみを持てるよう、低・中・高学年別に指導林家の吉田昭八さんのお話やクイズラリー、ビンゴゲームをとおして森林について学びました。

9/18
(日)



和寒町ソフトテニス大会

和寒町ソフトテニス協会(加藤昌一会長)主催の第25回和寒町ソフトテニス大会が総合体育館南側のテニスコートで開催され、全道各地から104名の選手が出場しました。

大会は男女別のダブルスで、レベルに応じたクラス分けがされ、老若男女がテニスを楽しみながら交流を深めていました。

和寒町からは3名の選手が出場し、男子の部C級で加藤昌一さんのペアが2位、藤原寛之さんのペアが3位に入賞しました。

9/9
(金)



体験で学ぶ「災害が起こったら？」

和寒小学校で「天塩川上流水防学習会」が開催されました。

児童は降雨体験や流水体験、そして実際に災害が起こったときの対処等を学ぶ学習会をとおして、改めて災害の恐ろしさや自分の身の守り方を学ぶことができました。

この学習会は、災害時の状況を疑似体験することで、災害の危機を理解し一人ひとりが安全な行動ができることをねらい、名寄河川事務所や旭川气象台、株式会社リブテックの協力を得て実施しました。



9/21
(水)

100歳のお祝いに記念品を贈呈

9月15日の「老人の日」記念事業（厚生労働省）として、今年度100歳を迎えられる次の3名の方に、内閣総理大臣からの祝状と記念品の銀杯が奥山町長より贈呈されました。

字松岡 石郷岡正一さん

字三笠 宮本ツヤノさん

字三笠 林 ミツさん

※写真は石郷岡正一さん（左から2番目）



9/20
(火)

自分で育てた稲を刈り取る

和寒小学校の5年生23名が北のきらきらキッズプロジェクトの協力を受け、稲作体験学習で自ら田植えをした稲を収穫しました。

今年は中和地区の水田に約40年前に多く作付されていた「しおかり」と現在の「ななつぼし」を5月に植え、大きく実った稲穂を一生懸命刈り取っていました。

今後は脱穀、もみすりの後に試食会を予定しています。



9/26
(月)

What's Some Mosh!!

和寒中学校体育館で、町内在住の青年層を対象としたスポーツ交流をおこないました。

この日は19歳から31歳までの計17名が集まりバスケットボールを楽しみました。参加者はハードな運動に息を切らしながらもお互いの交流を深めていました。

この事業は社会教育の一環として和寒の18歳から39歳までの青年層を対象に、みんなで盛り上がるというもので、青年のつどいや新就業者のつどいと同様に、和寒町で働く仲間同士のつながりづくりをめざしています。



9/21
(水)

「みんなの学校」上映会

特別支援連携協議会の主催により、大阪市立大空小学校の取組を追ったドキュメンタリー映画「みんなの学校」の上映会がおこなわれました。

撮影がおこなわれた大空小学校は、特別支援教室の対象となる発達障害がある子も含めすべての児童が同じ教室で学ぶ、不登校ゼロを目指す公立学校です。

当日は町内外から150名を超える来場者が訪れ、支援が必要な児童を、教員や周りの子どもたちはもちろん地域の方々にとっても、「それぞれの個性」として見守るためにできることは何かを考える貴重な時間となりました。

10/8
(土)



伝統話芸で戦争の悲惨さを伝える

講談「はだしのゲン」和寒講演会（澁谷澄夫実行委員会）が公民館で開催され、講談師の神田香織さんが原作や取材を元にした講談を披露し、会場に訪れた150名が伝統話芸の世界に浸りました。

講談とは、浪曲や落語と並ぶ日本の伝統話芸の中でも最も古い歴史があり、現在のジャーナリストのような役目を持っていたと言われていました。

演台を叩く張り扇の小気味良い音と情景あふれる音楽にのせて語られたゲンの戦争体験に涙する人も見られ、終了後は盛大な拍手が贈られました。

10/1
(土)



野外レストランで和寒産を味わう

和寒町着地型観光推進協議会とコープさっぽろの連携で、「畑でレストランin塩狩峠」が開催されました。

札幌や旭川などから約40名が参加し、中和の郷政雄さんが栽培するストライブペポのほ場見学のあと、塩狩峠に移動し、札幌の「トラットリア・ピッツェリア・テルツィーナ」のオーナーシェフ

堀川秀樹さんと、冬音のシェフ 南一成さんが腕をふるい、カボチャをはじめとした和寒産農作物や、和寒小学校5年生が稲作体験で収穫した米「しおかり」を使ったスペシャルコース料理を味わいました。



10/8
(土)

使える品は再利用！

毎年エコな方々が集まるリサイクルまつりが、今年もリサイクルセンターを会場にクリーンタウンわっさむの主催で開催されました。

当日は町内外から約220名が来場する大盛況ぶりで、遊休品の展示コーナーではオークション形式で展示された遊休品が欲しい方が自分の名前を貼り付け、複数の希望者が出た人気の品では、ジャンケンによる熱いたたかいが繰り広げられました。

他にも会場ではフリーマーケットやエコ商品の抽選会、廃油石けんの販売、コーヒー牛乳の無料配布がおこなわれ、賑わいを見せました。



10/8
(土)

豊かな緑を自分たちの手で

三笠山自然公園東側の旧わっさむサーキットで町民植樹祭がおこなわれました。

今年はニトリ北海道応援基金の助成のほか、和光クリーン有限会社、北海道山林種苗協同組合青年部から苗木の提供を受け、ミズナラやエゾヤマザクラなど126本を約110名の参加者が1本1本ていねいに植樹しました。

町民植樹祭は平成19年度から毎年開催し、平成24年度から現在の会場で実施しています。

わっさむドキドキクラブから参加した子どもたちは、自分と同じくらいの背丈の苗木を植え終わると、満足そうに笑顔を浮かべていました。



航空自衛隊北部航空音楽隊コンサート

北部航空音楽隊によるコンサートが公民館で開催されました。

コンサートは2部構成でおこなわれ、1部では「秋空に」や「オクトーバー」など秋にちなんだ楽曲が、2部では「カーペンターズ」のメドレーなど、懐かしくも素晴らしい演奏が披露されました。

330名の来場者は感動がおさまらず、2曲のアンコールを演奏していただくなど会場は大いに盛り上がりました。

～ありがとうございました～

保育所・図書館で清掃ボランティア

10月1日、JA北ひびき和寒基幹支所の職員約20名の皆さんに、子どもたちが利用する保育所や図書館の環境美化活動を実施していただきました。

きれいな環境で子どもたちがのびのびと生活できるようにと、建物の窓や壁の清掃のほか、グラウンドの草取りや周辺の草刈りに汗を流していただきました。



荒井建設に小中学校から感謝状贈呈

9月27日、和寒中学校のグラウンド整備をしていただいた、旭川市の荒井建設株式会社に感謝状を贈りました。同社の皆さんには、学校のグラウンド整備や野球場の雑草の除去をしていただきました。安達校長は「生徒たちも体育や部活動で気持ち良く使っています」と感謝の言葉を述べました。

また、10月12日、和寒小学校に交通安全標語看板を設置いただいた同社に感謝状を贈りました。

看板には各学年から選出した標語を掲示し、東門の道路沿いに設置しました。併せて作成していただいた標語ののぼり旗は校舎内に掲示し、林校長は「児童にとって貴重な取組となりました」と感謝の言葉を述べました。



裁判員候補者名簿記載通知が送られてきます

裁判員は、各市区町村の選挙人名簿から無作為にくじで抽出され、全国で約23万3,600名が候補者として登録されます。

平成29年度の裁判員候補者名簿に登録された方には、11月中旬に通知が届きます。

この通知は、平成29年2月頃から平成30年2月頃の間、に裁判員に選ばれる可能性があることを事前にお知らせし、あらかじめ心構えをしていただくためのものです。

もしご自宅に通知が届いても、実際に裁判員に選ばれたわけではありませんので、すぐに裁判所に行かなければならないものではありません。

実際に個別の事件の裁判員に選ばれた場合は、その時に別途お知らせがあります。



候補者に送られてくる封筒

平成27年には、6,767名の方が裁判員として裁判に参加し、1,104件の判決が言い渡されています。

裁判員制度は、国民の皆さまのご協力がなければ成り立たない制度ですので、引き続きご理解とご協力をお願いします。